平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月8日

上場会社名　カネソウ株式会社　　上場取引所　名
コード番号　5979　URL　http://www.kaneso.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 近藤　健治
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 南川　智之　TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日　平成25年11月12日　配当支払開始予定日　平成25年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,404	2.0	124	△30.9	98	△37.4	60	△40.2
25年3月期第2四半期	3,336	12.6	179	―	158	―	101	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.27	―
25年3月期第2四半期	7.13	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	15,509	13,636	87.9
25年3月期	15,713	13,680	87.1

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　13,636百万円　25年3月期　13,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
26年3月期	―	7.50			
26年3月期(予想)			―	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	6.7	615	0.4	570	△0.2	353	△0.1	24.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,400,000 株	25年3月期	14,400,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	161,361 株	25年3月期	161,319 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	14,238,641 株	25年3月期2Q	14,240,059 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間における国内経済は、政府による経済対策や金融政策により、円高是正の進行とともに輸出や生産が持ち直し、企業収益に改善の兆しが見え始めました。一方で中国をはじめとする新興国経済は減速感が現れ、輸入諸物価の上昇など、景気を下押しする要因もあり、依然として先行きの不透明感は拭えない状況にあります。建設関連におきましては、景況感の改善から住宅投資に持ち直しの動きが見られたほか、公共事業も堅調に推移しました。その結果、売上高は34億4百万円(前年同四半期比2.0%増)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。鋳鉄器材は建築の増加から排水関連製品が堅調に推移したことと設備、外構資材製品が増加したことから、11億3百万円(同4.5%増)となりました。スチール機材は設備工事関連製品が増加しましたが、その他は全般に低調であったことから、6億29百万円(同0.3%減)となりました。製作金物は建築、及び外構関連製品が低調でしたが免震関連製品の納入が進んだことから、14億5百万円(同5.3%増)となりました。その他は土木需要がやや低調であったことと建機、機械向け製品が海外需要の減速から生産調整が続いており、2億65百万円(同15.3%減)となりました。

利益につきましては、材料価格等が上昇基調にあり、販売及び受注環境は価格競争など厳しい状況が続きました。生産対応等コスト改善に向け取り組みましたが、売上総利益は11億9百万円(同0.6%減)となりました。販売費及び一般管理費も諸経費の低減に努めましたが退職給付費用の増加もあり、営業利益は1億24百万円(同30.9%減)となりました。営業外収支につきましては金利が低位にあり、改善には至りませんでした。その結果、経常利益は98百万円(同37.4%減)となり、四半期純利益は60百万円(同40.2%減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期会計期間末の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ2億3百万円減少し155億9百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ6億88百万円増加し113億10百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が2億54百万円減少しましたが、現金及び預金が１年以内満期の長期預金の増加等により9億10百万円、たな卸資産が53百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ8億92百万円減少し41億99百万円となりました。その主な要因は、長期預金が１年以内への振替により9億円減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ1億59百万円減少し18億73百万円となりました。その主な要因は、退職給付引当金が43百万円増加しましたが、未払法人税等が1億30百万円、買掛金が20百万円、流動負債のその他が未払金及び未払消費税の減少等により54百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ43百万円減少し136億36百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上がありましたが、前事業年度の配当金の支払があったこと等により利益剰余金が46百万円減少したこと等によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、政策効果を背景に、公共投資をはじめ民間投資の回復を受け改善の動きが出てくるものとも見込まれます。建設関連におきましても今後、本格的な経済の回復が進めば需要は底堅く推移するものと思われます。一方で、円安傾向への反転を受け原材料価格等諸物価の上昇が見込まれることと、販売環境は引き続き市場競争等厳しい状況が続いております。このような変化の激しい環境の下で、一層のコスト管理と高い品質を追求し、高度化するお客様ニーズを正確にとらえ、競争力のある製品開発を進め、業績の改善に努めてまいります。

これらの状況を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成25年５月10日に公表した数値から変更はございません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
(1)四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,923,919	8,834,714
受取手形及び売掛金	1,575,024	1,321,010
製品	566,107	586,477
仕掛品	81,664	89,121
原材料及び貯蔵品	398,984	424,546
その他	77,199	55,291
貸倒引当金	△632	△530
流動資産合計	10,622,267	11,310,633
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,733,768	1,733,768
その他（純額）	1,215,472	1,201,458
有形固定資産合計	2,949,240	2,935,226
無形固定資産	1,518	3,738
投資その他の資産		
投資有価証券	67,084	70,519
長期預金	1,600,000	700,000
その他	485,537	501,704
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	2,140,622	1,260,224
固定資産合計	5,091,381	4,199,189
資産合計	15,713,649	15,509,823
負債の部		
流動負債		
買掛金	297,117	276,955
未払法人税等	177,231	46,471
賞与引当金	47,068	51,397
その他	227,769	172,948
流動負債合計	749,187	547,772
固定負債		
退職給付引当金	300,027	343,875
役員退職慰労引当金	386,345	380,839
その他	597,502	600,632
固定負債合計	1,283,875	1,325,348
負債合計	2,033,062	1,873,120

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,593,892	10,547,856
自己株式	△69,144	△69,161
株主資本合計	13,664,747	13,618,695
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,839	18,007
評価・換算差額等合計	15,839	18,007
純資産合計	13,680,586	13,636,702
負債純資産合計	15,713,649	15,509,823

(2)四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	3,336,004	3,404,234
売上原価	2,220,308	2,295,174
売上総利益	1,115,696	1,109,059
販売費及び一般管理費	936,146	984,982
営業利益	179,549	124,077
営業外収益		
受取利息	12,368	8,838
受取配当金	1,076	1,129
不動産賃貸料	9,480	9,472
その他	2,544	2,485
営業外収益合計	25,470	21,926
営業外費用		
支払利息	8,819	8,811
売上割引	34,661	35,021
その他	3,478	3,279
営業外費用合計	46,959	47,113
経常利益	158,060	98,890
特別損失		
減損損失	1,955	－
特別損失合計	1,955	－
税引前四半期純利益	156,105	98,890
法人税、住民税及び事業税	41,974	44,813
法人税等調整額	12,574	△6,677
法人税等合計	54,548	38,135
四半期純利益	101,556	60,754

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

平成 25 年 11 月 8 日

平成 26 年３月期　第２四半期決算発表　参考資料

カネソウ株式会社

１．業　　績（累計）

科　　目	金　　額	前 年 同 四 半 期 比
売　　上　　高	34 億　4 百万円	2.0 % 増
営　　業　　利　　益	1 億 24 百万円	30.9 % 減
経　　常　　利　　益	98 百万円	37.4 % 減
四　半　期　純　利　益	60 百万円	40.2 % 減
1 株当たり四半期純利益	4 円 27 銭	（前年同四半期 7 円 13 銭）

製品分類別売上高の状況

製　　品　　分　　類	売上高（百万円）	構成比（%）	前年同四半期比（%）
鋳　　鉄　　器　　材	1,103	32.4	4.5
ス　チ　ー　ル　機　材	629	18.5	△0.3
製　　作　　金　　物	1,405	41.3	5.3
そ　　の　　他	265	7.8	△15.3
合　　計	3,404	100.0	2.0

２．配　　当

中間配当は、1 株当たり 7 円 50 銭を実施する予定であります。（前年同四半期 7 円 50 銭）

３．財政状態

総資産 155 億 9 百万円、純資産 136 億 36 百万円、自己資本比率 87.9%、
1 株当たり純資産額 957 円 73 銭であります。（株式数　14,238 千株）

４．通期（平成 26 年 3 月期）の業績予想

区　　分	第２四半期実績(累計)		通　期　予　想	
	金額（百万円）	前年同期比（%）	金額（百万円）	前期比（%）
売　　上　　高	3,404	2.0	7,800	6.7
営　　業　　利　　益	124	△30.9	615	0.4
経　　常　　利　　益	98	△37.4	570	△0.2
第2四半期（当期）純利益	60	△40.2	353	△0.1

製品分類別売上高の計画（通期）

製　　品　　分　　類	売上高（百万円）	構成比（%）	前期比（%）
鋳　　鉄　　器　　材	2,500	32.0	6.6
ス　チ　ー　ル　機　材	1,500	19.2	6.2
製　　作　　金　　物	3,210	41.2	8.4
そ　　の　　他	590	7.6	△0.1
合　　計	7,800	100.0	6.7

５．設備投資及び減価償却費（有形固定資産）

	第２四半期実績	通　期　計　画
設　備　投　資　額	73 百万円 （省力化設備等）	4 億 8 百万円 （加工設備、省力化設備等）
減　価　償　却　費	87 百万円	2 億 30 百万円

※　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。